

今日は「ガイアナイト」の日

照明を消してローソクの光で過ごしませんか。地球温暖化防止に参加できます

ガイアナイト実施にあたって 道民の皆さんへの僕の提案

僕は、日本がこれ以上豊かで便利な大国になって行くことより、あらゆる意味で質高く、世界から尊敬され注目される小国になることを望んでいます。北海道はその意味でこの国のモデルになるべきです。

その為には僕らは空間的にも時間的にも未来に向けての広い視点を持たなければなりません。

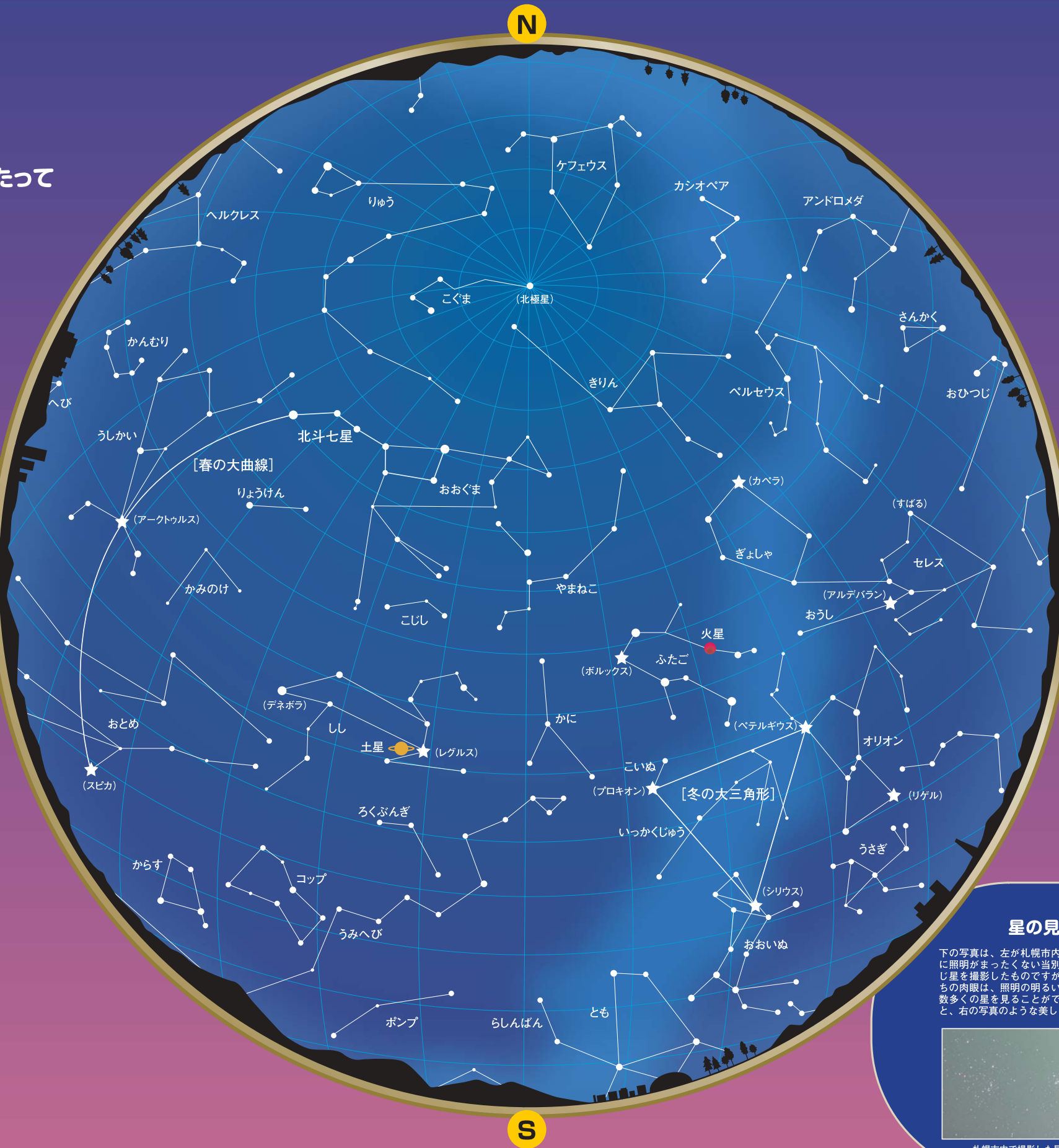
この島で世界の首脳を迎え、地球環境に関するサミットが開かれます。北海道が試される時です。

エネルギーを乱費する饗応を排し、例えばローソクの灯のぬくもりで各国の首脳をお迎えして、道民の暖かさと意識の高さを、世界に示そうではありませんか。

サミット前のみでなくサミット後へも続く灯夜の夜を定期的に持つことを、道民の皆さんに提唱します。

倉本 聡

北海道洞爺湖サミット道民会議
オフィシャルサイトから抜粋



倉本さんのおっしゃる、“電気を消して闇と向き合い、1本のローソクに家族が集う、その時間の大切さ”を私自身しっかりと考えてみたいと思います。

このサミットを契機に、私たちは、危機に瀕している地球環境問題について、真剣に考えなければなりません。そのために、地球の未来に思いをはせ、家族や友達と静かに語り合う、そんな時間を持ってみませんか。

時計の針を過去に戻し、ローソクのやわらかな光の中で、私たちが身を置いている文明社会を見つめ直すことを、今、この地球(ほし)で共に生きている皆さんに問いかけてみたいと思います。

北海道洞爺湖サミット道民会議
会長 高橋はるみ

北海道洞爺湖サミット道民会議
オフィシャルサイトから抜粋

街のイルミネーションで 星の見え方はこんなにも違います。

下の写真は、左が札幌市内の周りに照明がともっている場所で、右が周りに照明がまったくない当別町の道民の森で、夜間に天体望遠鏡を使って同じ星を撮影したのですが、写り方はこんなにも違ってきます。わたしたちの肉眼は、照明の明るい場所では、照明に邪魔をされて、小さくて暗い数多くの星を見ることができませんが、照明を消すことができれば、きっと、右の写真のような美しい星空を楽しめることでしょう。



札幌市内で撮影した星空



道民の森で撮影した星空

写真提供:札幌市青少年科学館

今日(3月30日)午後8時ごろの札幌の夜空です